

商店街からの
お知らせ
&
報告

～見に来なくちゃ
夏が始まらない～

七夕祭りのお知らせ

今年も七夕の季節となります。甲府駅前より中央商店街までが七夕飾りで彩られます。本年は7月1日～7月8日まで七夕祭りを行う予定です。その間は屋台が出るなど街全体が華やかになります。七夕飾りはそれぞれの商店街が毎年企画し、多くの浴衣姿の人々で賑わう夏の風物詩です。

銀座街の駅

「このほり祭りIN GINZA」記念イベント
泣き相撲&
わんぱく相撲大会



力士に抱かれ
思い切り泣く
赤ちゃん

当所で運営している「銀座街の駅」では、「このほり祭りIN GINZA」の関連イベントとして「泣き相撲・わんぱく相撲大会」を5月12日に銀座通りで開きました。

昔から言われている「泣く子は育つ」という言葉。思いっきり泣いて「泣き大将」を目指す泣き相撲大会では、特設の土俵を舞台に県内各地から集まった約40人の赤ちゃんが参加しました。力士に抱かれ、どちらが早く泣き出すかを競い合い、元気な泣き声を商店街に響かせました。

「わんぱく相撲大会」は、家族の声援を受けながら2、3歳から小学生までのちびっ子達が力士相手に奮闘しました。当日は運営スタッフとして4月にオープンした「よつびし総研」の学生も参加しました。

また、同日は第142回甲府中央商店街第2土曜市も実施されました。

商店街に
元気な
泣き声が
響きました

オリオン通り南部商店会

オリオン通り南部商店会は、昭和30年9月に有志数名で設立しました。現在は、様々な業種の会員10店舗が立ち並んでおり、会員相互の心からの信頼と親睦により、どの店も明るい環境でサービスに努めています。



▲会長の両宮正幸さん

オリオン通りで(有)マンセイ洋装店を営んでおります。楽しいショッピングができるオリオン通りには是非お越し下さい！

オリオン通りにはない魅力が沢山あります。例えば、ただ単にモノを買いに行く場所ではなく、買いに行くことが楽しい場所、買うことに対する楽しみがある場所であること。また、お客

様一人一人との付き合いを大事にします。熱い信頼を受けているところにあります。

オリオン通り南部商店会会員さん



▲店内には額縁や掛軸がズラリと並んでいる

額縁製造 (株) 山鏡堂

大ベテランの額縁職人!

開業して約62年の歴史ある(株)山鏡堂さんは、額縁、絵画、掛軸などを取り扱っています。

既製品はもちろん、数ある材料を取り揃えていますので、オリジナルフレームも作れます。また、加賀美さんは、この道40年の大ベテランで取得困難なモールドイングフレーム(額縁職人)の資格を持ち、全国でも数名しかできないと言われるマットカットを手作業でする技術も持っています。(マットとは、デッサン額縁・ポスター額縁の枠と作品の間を埋める厚手の化粧ボードのことを言います。)

「お客様の住生活に少しでも憩いの場を作れるよう、また、要望に何でも応えられる装飾作りをしていき、お客様に一室一点装飾の心を大事にしてほしい」と加賀美さんは笑顔で話してくれました。

甲府市丸の内1丁目21-21
TEL.055-233-7070.FAX.055-226-5377
取締役社長 加賀美 潔

オリオン通り商店会

戦前、オリオン通り商店会の一帯は検事正の宿舎でした。戦後、その跡地は開発され、商店街が作られました。その商店街は映画館オリオンパレスにあやかつてオリオン通りと名づけられ、昭和25年、オリオン通り商店会となりました。現在はファッションをはじめ、サービス業、飲食業など会員21店舗があり、空き店舗はなく、順調にファッション性豊かな魅力ある商店街づくりに励んでいます。そんな中、今、オリオン通り商店街は



▲会長の興石 陽さん

オリオン通りで(株)セイビドールを営んでおります。みなさん、ファッション性溢れるこの街へ是非遊びに来て下さい！

この機会をオリオン通り商店会が、より一層ファッション性豊かな商店街にできるチャンスととらえ、いい意味での転換期を迎えられると期待しています。「山梨の原宿、山梨の渋谷」と呼ばれるようなオリオン通り商店会を目指してまいります。

転換期を迎えています。オリオン通り商店会のアーケードが最初にできたのは昭和31年の葦原(よしざり)のアーケードで、現在のアーケードができたのは今から46年前の昭和36年のことでした。その後、修理や補修を重ねる中で、アーケードの架け替えについて検討し始めた頃、平成22年完成予定の複合ビルを建設する再開発計画が具体化し、本格的なアーケード架け替えの動きが出てきました。

オリオン通り商店会会員さん



▲時間をかけてエキスを抽出する水出しコーヒー(左下)は大人気



▲春の甲府舞鶴城(深山オーナー撮影)

喫茶店 みちくさ

コーヒー一杯15円から400円へと
変遷を遂げてきました

昭和22年にコーヒー一杯15円から始めた喫茶店みちくささん。あれからちょうど60年を迎え、オーナーである91歳の深山さんは、60年間お店を守り続け、趣味である写真撮影で商店街のために何かできればと、甲府舞鶴城を撮影し、ポスターも作成したことがあります。

甲府で一番古い喫茶店といわれるほど、深い歴史と伝統を持っており、今も変わらぬ味とお店の雰囲気、幅広い世代・地域から常連客が絶えません。昨年取り入れた水出し器から5時間かけて落としたアイスコーヒーは大評判だそう。

これからも、店名の由来でもある「ホッとできる場所」として、雰囲気を変えず、新しいものを取り入れながら、みちくさ的存在になり続ける努力をしていきます。

甲府市丸の内1丁目16-1
TEL.055-233-8882
代表 深山 敏



Vol.2
ウォッチング!
オリオン通り商店会・
オリオン通り南部商店会

このページでは、甲府中心商店街やそのお店の紹介をします。今月は、新しく生まれ変わろうとしているオリオン通り商店会・オリオン通り南部商店会をウォッチング!

今も変わらぬ歴史と
伝統を守りながら、
時代に合わせた
街づくりを目指して
いきます

